



西ノ島小学校からこんにちは！②

自ら進んで学ぶ子 (学力アップ)

○学習発表会

生活科や総合的な学習の時間に学んだ成果をまとめ発表したのが、1年、2年、4年でした。3年、5年、6年は国語の教材から発展させた発表でした。幕間を使つての感想発表も手を挙げる子供の数が増え、見せ合うだけでなく、見て感じたことを発表した学年に返す「双方向の発表会」になりつつあります。他の学年の発表をただ見るのではなく、思いを持ちながら主体的に見る姿勢を今後も育てていきたいと思つています。各家庭2名までの人数制限をかけたため、いつもの家族揃つての参観とはならず申し訳ありませんでしたが、会場一杯の温かい拍手をいただき子供達の自信へ繋がった発表会となりました。

○校内音楽会

島前音楽会が中止となり、子供たちのそして先生達の「みんなで心を一つにして合唱を発表したい・させたい」という思いを受け、感染防止の措置をとつてメインアリーナで行

いました。教育活動の中でも音楽の授業、特に合唱は様々な規制があるため、指導をする先生達も工夫を凝らした発表となりました。歌い終わった後のすっきりした顔に、それぞれが達成感のある校内音楽会となりました。

たくましく生きる子 (パワーアップ)

○小体連陸上記録会

島前陸上大会が中止となり、小体連主催の記録会として午前中開催で行いました。ほとんどがタイムレースということで子供たちはプレッシャーと戦いながらスタートラインに立ったことと思います。天候不良で校舎内での練習も多い中、自分の記録に挑戦しながら練習を重ね、大会に臨みました。苦しくても頑張る力を身につけたのは、6年生が率先して大きな声で最後まで練習に臨む姿を見せてくれたからこそと思えます。マスクをしながらテントから応援し、本番でも諦めず最後まで走り抜く子どもの姿がたくさん見られました。

○校内バスケットボール大会

小体連の大会が中止となり、昨年も天候不良で中止だったため、今の6年生はバスケットボールという課外活動や大会をほとんど経験しないまま卒業となります。5・6年担任や体育主任の「子供たちにバスケットボール大会や大会に向けての地道な練習を経験させてやりたい」という熱い要請があり、行いました。体力や技術の向上だけでなく苦手なことでも逃げ出さず向かっていくこと、挨拶など礼儀正しく行動すること、宿題などやるべきことはきちんとすること、仲間を信じ助け合い協力し一杯応援すること等学力アップやハートアップもめざしました。

工夫し改善して取り組みましたが、来年度からいよいよ実施となる小中一貫教育に向けまだまだ課題もたくさんあり、また、新型コロナウイルス感染症の猛威がいつ終息するのか先が見通せない状況でもあります。そんな中でも、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、教育活動推進に向け物心両面から助けていただきました。心より感謝いたしますとともに、引き続き、ご支援・

ご協力をいただきますようお願いいたします。

(文責 小学校校長)



▲ 小学校人権集会



▲ 6年生学習発表会フィナーレ

公民館の取組

ふるさと子ども体験隊
じよんじよん太鼓を体験しよう！

12月5日（土）、町民体育館でふるさと子ども体験隊「じよんじよん太鼓を体験しよう！」を行い、小学生13名が参加しました。これは和太鼓グループの「じよんじよん」さんに太鼓を習いながら地域文化に触れてもらうことを目的として毎年行っている事業です。

何度か経験している子は思い出すように、初めて太鼓に触れる子は真剣に説明を聞きながら、太鼓と格闘しました。子どもたちの上達は早く、「じよんじよん」さんも驚かれています。基本の叩き方を教えていただいているから、音楽に乗せて自由に太鼓を叩き、とても楽しい時間を過ごしました。毎年恒例イベントとなっている「じよんじよん太鼓」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昼食交流を中止し、太鼓の体験のみとなりました。交流の時間が減ってしまったのは残念ですが、また楽しい企画をしていきますので多くの子どもたちに参加してほしいと思います。



▲音楽に合わせて太鼓を叩く子どもたち



▲真剣に説明を聞く子どもたち

大人の
島留学



いとうけいな
伊藤 圭那
(美田尻)

こんにちは。「大人の島留学」という取り組みが始まり12月より西ノ島町役場でお世話になっております。美田尻出身の伊藤圭那と申します。生まれてから18年間西ノ島町で過ごし、高知県の大学に進学して、現在大学3年生になります。

大学の授業がオンラインになったことがきっかけで、10月から島に戻り、海士町のシェアハウスに住みながら、2か月間海士町役場でお世話になっていました。しかし、生まれ育った西ノ島の仕事の現場に行きたい、西ノ島の人と働く経験を今してみたい、という想いが捨てきれず、12月から西ノ島町役場のほうでお世話になることになりました。海士町から西ノ島町に通うという、高校生の時とは逆の生活を送っていて、未だに新鮮な気分です。

大人の島留学ってなんだ？とお思いの方も多いと思いますが、簡単に説明させていただくと、隠岐島前地域出郷者を中心とした若者向けに創設した移住体験で、主に大学生などの若者が対象となっています。

「島で働いて暮らしてみる」という初めての経験で、日々充実した生活を送らせてもらっています。島前高校卒業生も多く帰ってきており、懐かしい先輩や後輩、同級生が、役場やホテル、観光協会、学校など、島の様々な職にたずさわっています。

3月末まで西ノ島町観光定住課を拠点に西ノ島の様々な仕事を体験させていただき、与えられた機会を、自身の学びや成長につなげられるよう取り組んでいきたいと思っています。

また、体験した仕事のこと経験を通じて感じたことなど広報誌等を通じて発信できればと考えています。

短い期間ではありますが、会った際には声をかけていただけると嬉しいです！どうぞよろしく願いいたします。



▲活動の様子